

篠監公表第 3 号  
平成28年 2月29日

篠山市監査委員 畑 利 清

篠山市監査委員 恒 田 正 美

平成27年度財政援助団体等監査の結果について

地方自治法第199条第5項並びに第7項の規定により、財政援助団体等監査を実施  
したので、同条第9項の規定に基づき結果を公表する。

# 平成 27 年度 財政援助団体監査報告書

## 第 1 監査の種別

財政援助団体監査（地方自治法第 199 条第 7 項）

随時監査（地方自治法第 199 条第 5 項）

## 第 2 監査の対象

### (1) 対象団体・部局

- ・ 公益社団法人 篠山市シルバー人材センター（以下、「センター」という。）
- ・ 篠山市保健福祉部福祉総務課（センターに対する財政援助事務の市所管部局。以下、「市所管課」という。）

### (2) 対象事務

- ・ センターにおける平成 26 年度市補助金収入に係る出納その他の事務の執行
- ・ 市所管課における平成 26 年度補助金交付に係る事務の執行

(単位：円)

補助金等の名称(センター受入)	補助金等の名称(市交付)	金額
市補助金収入	高齢者就業機会確保事業 市シルバー人材センター補助金	13,240,000

## 第 3 監査の期間

平成 27 年 10 月 21 日から平成 28 年 2 月 19 日まで

## 第 4 監査の方法及び着眼点

センターに対し、平成 26 年度の財務等に関する書類の提出を求めるとともに、市所管課に対し上記補助金交付に関する書類の提出を求めて実施した。

センターにあつては、補助事業が補助目的に沿って効率的、効果的に実施されているか、また補助金に係る収支等の経理事務全般が関係法令等の諸規定に準拠して適正に処理されているかについて、一方、市所管課にあつては、センターに対する補助金の交付手続き並びに指導・監督等が適切に行われているかについて調査を行うとともに、必要に応じて関係職員等から事情聴取を行った。

### (1) 財政援助団体関係

ア 事業計画書、予算書及び決算諸表等と市所管課へ提出した補助金等の交付申請書、実績報告等は符合するか。

イ 補助金等交付申請書の提出及び補助金等の請求、受領は適時に行われているか。

ウ 事業は、計画及び交付条件に従って実施されているか。また、補助金等が補助等対象事業以外に流用されていないか。

エ 出納関係帳票の整備、記帳は適正か。また、領収書等の証拠書類の整備、保存は適切か。

オ 補助金等に係る収支の会計経理は適正か。

カ 会計処理上の責任体制は確立されているか。

キ その他

## (2) 市所管課関係

- ア 補助金等の決定は法令等に適合しているか。
- イ 補助金等の交付目的及び補助等対象事業の内容は明確か。また、公益上の必要性は充分か。
- ウ 補助金等に関する条件の内容は明確か。
- エ 補助金等の額の算定、交付方法、時期、手続き等は適正か。
- オ 補助金等の効果及び条件の履行の確認は、実績報告書等によりなされているか。
- カ 補助金等の交付団体への指導監督は適切に行われているか。

## 第5 監査の結果

センターの市補助金に係る出納その他の事務の執行及び市所管課の同補助金交付に係る事務については、法令、規則等に準拠し、おおむね適正に処理されているものと認められた。このうち、センター作成の実績報告書添付書類については監査時に口頭により改善を求めた。監査結果の内容は次のとおりである。

## 公益社団法人 篠山市シルバー人材センター

### 1 公益社団法人 篠山市シルバー人材センターの概要

#### (1) 設立及び目的

- 名 称 公益社団法人 篠山市シルバー人材センター
- 設 立 平成3年3月5日（社団法人多紀郡広域シルバー人材センター）
- 法人許可 平成3年4月1日
- 設置根拠 高齢者等の雇用の安定等に関する法律（昭和46年法律第68号。以下「高齢法」という。）第41条
- 目 的 センターは、定年退職者等の高齢退職者（以下「高齢者」という。）の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務（当該業務に係る労働力の需給の状況、当該業務の処理の実情等を考慮して厚生労働大臣が定めるものに限る。）に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供する等、就業を援助して、生きがいの充実、社会参加の促進を図ることにより、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。

#### (2) 沿 革

- ・ 昭和63年6月 丹南町シルバー人材センター設立
- ・ 昭和63年9月 西紀町シルバー人材センター設立
- ・ 平成元年5月 西紀・丹南シルバー人材センター設立
- ・ 平成元年7月 篠山町シルバー人材センター設立
- ・ 平成2年3月 今田町シルバー人材センター設立
- ・ 平成3年3月5日 社団法人多紀郡広域シルバー人材センター設立  
〔法人許可(民法34条) 平成3年4月1日〕
- ・ 平成11年4月1日 社団法人篠山市シルバー人材センター設立  
(多紀郡4町の合併により篠山市発足のため)
- ・ 平成24年4月1日 公益社団法人篠山市シルバー人材センターに名称変更

#### (3) 事務所所在地

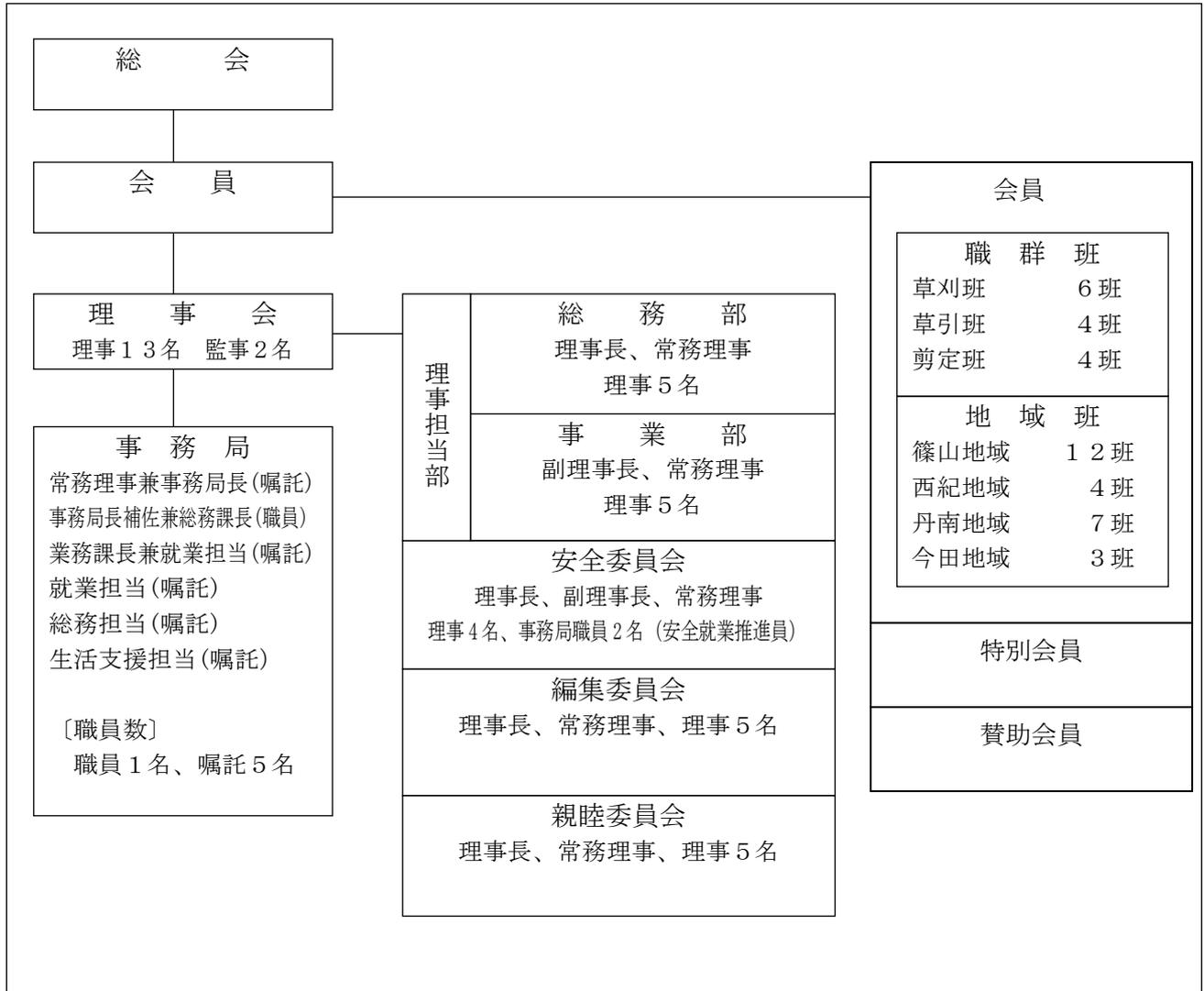
篠山市東新町1番地5 丹波杜氏酒造記念館

#### (4) 組 織（平成26年度）

センターは、理事長1名、副理事長1名、常務理事1名、理事10名、監事2名、事務局職員6名（事務局長（常務理事兼務）、職員、嘱託職員）で構成されている。

センター組織図

(平成 27 年 3 月 31 日現在)



※ 職員 … 職員就業規程第 2 章(第 6 条～第 8 条)に定めるところにより、センターに採用されたもの

※ 嘱託 … 嘱託職員等の給与等に関する規定第 2 条によりセンターに雇用されたもの

## 2 事業の概要

### (1) 事業の概要

法人登記及びセンターの定款第 4 条に定める事業の内容は、次のとおりである。

- ① 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供
- ② 高齢者の就業に関する調査及び研究
- ③ 高齢者に対する就業相談の実施
- ④ 高齢者に対する臨時的かつ短期的な就業(雇用によるものを除く。)又はその他の軽易な業務に係る就業(雇用によるものを除く。)の機会の確保及び提供
- ⑤ 臨時的かつ短期的な就業(雇用によるものに限る。)又はその他の軽易な業務に係る就業(雇用によるものに限る。)を希望する高齢者への職業紹介事業又は一般労働者派遣事業の実施
- ⑥ 高齢者に対する臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習会等の開催
- ⑦ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## (2) 会員数の状況

会員数の年度別状況は次表のとおりである。

(年度末現在)

	男 性	女 性	合 計	
	人数 (人)	人数 (人)	人数 (人)	平均年齢
平成 24 年度	247	144	391	70.6
平成 25 年度	229	141	370	70.9
平成 26 年度	238	146	384	71.1

平成 26 年度末の会員数は、男性 238 人、女性 146 人、合計 384 人となっており、60 歳以上の人口に対する入会率（以下、「粗入会率」という。）は、2.3%となっている。また、会員の平均年齢は 71.1 歳である。これらを前年度と比較すると、会員数は男性で 9 人増加、女性で 5 人増加、合計で 14 人増加しており、平均年齢は 0.2 歳上昇している。

また、平成 24 年度以降の 3 年間の推移を見ると、会員数は 7 人(1.8%)減少しており、平均年齢は 0.5 歳上昇している。

なお、平成 26 年度における県平均は、粗入会率が 2.4%であり、会員の平均年齢は 70.7 歳となっている。

## (3) 就業の状況

就業状況の年度別状況は次表のとおりである。

(単位：件・人・千円・%)

区 分	契約件数	契約金額			就業 実人員	就業 延人員	就業率
		公共事業	民間事業	計			
平成 24 年度	2,715	34,440	95,151	129,591	347	27,353	87.7
前年度比較	△ 97	65	△ 15,425	△ 15,360	△21	△3,467	△ 6.6
平成 25 年度	2,657	36,189	98,260	134,449	333	28,434	90.0
前年度比較	△ 58	1,749	3,109	4,858	△10	1,081	2.3
平成 26 年度	2,605	37,135	99,783	136,918	319	27,840	83.1
前年度比較	△ 52	946	1,523	2,469	△14	△594	△ 6.9

平成 26 年度の契約件数は 2,605 件(対前年度 52 件の減)、契約金額は 136,918 千円(対前年度 2,469 千円の増)であり内訳は公共事業で 37,135 千円、民間事業で 99,783 千円となっている。公共比率(契約金額全体に占める公共事業の契約の比率)は 27.1%となっている。公共比率を年度比較すると、平成 24 年度が 26.6%、平成 25 年度は前年度に比べ 0.3 ポイント増の 26.9%、平成 26 年度は前年度に比べ 0.2 ポイント増の 27.1%と年々増加傾向にある。なお、平成 26 年度における公共比率の県平均は、27.4%となっており、センターは県平均に比べると公共団体からの受注割合が若干低い状況となっている。

平成 26 年度の実業実人員は 319 人(対前年度 14 人の減)、就業延人員は 27,840 人(対前年度 594 人の減)、就業率は 83.1%(対前年度 6.9 ポイントの減)となっている。なお、平成 26 年度における就業率の県平均は 77.4%で、センターは県平均に比べると 5.7 ポイント高い状況となっている。

## (4) 平成 26 年度事業の実施状況

平成 26 年度事業の実施状況は、次のとおりである。

### ①就業機会の確保と提供を行う等その就業を援助する事業

センター事業や普及啓発チラシの新聞折り込み、企業訪問による就業開拓、会員への募集案内及び情報提供が行われた。

②就業に関する情報の収集及び提供等の事業

就業情報の提供と就業相談については、毎月 20 日に入会説明会を実施するとともに、家庭訪問を実施し新規会員の勧誘や就業相談等が行われた。また企業等の訪問活動を行い情報収集等がされた。

③シルバー派遣事業

(公社) 兵庫県シルバー人材センター協会が実施するシルバー派遣事業の実施事務所として就業を希望する高齢者にシルバー派遣事業が推進された。また、就業場所の確保対策として企業訪問やチラシの配布が実施された。

④就業の実績〔「(3) 就業の状況」参照〕

就業実人員は 319 人で、前年度に比べ 14 人 (4.2%) 減少している。また、就業延人数は 27,840 人で、前年度に比べ 594 人 (2.1%) 減少している。契約金額では 136,918 千円であり、前年度に比べ 2,469 千円の増加となっている。職種別の実績では一般作業が減少したが専門分野や技能分野、管理監視分野等は前年を上回っている。

⑤安全就業の取り組み

会員の安全就業の徹底については、事故ゼロの取り組み（就業へ行く前のチェックポイント、安全パトロールの実施等）、健康管理と健康診断の推進（熱中症予防、インフルエンザ予防の注意喚起等）、交通安全の徹底（高齢者の事故、夕暮れ・夜間の事故の注意喚起）が実施された。

なお、当該年度の事故件数は 5 件（傷害事故 0 件、物損事故 5 件）となっている。

⑥会員の相互扶助及び福利厚生事業

健康増進としてグランドゴルフ大会等の実施や健康講座として今田診療所所長による「とっさの時の応急手当」について活動が行われた。

⑦社会貢献活動に関する事業

10 月 1 日を「シルバーの日」として篠山城跡周辺の草刈清掃ボランティアの実施、7 月 2 日、3 日に今田支所周辺の雑木剪定と 11 月 4 日、5 日の篠山城跡周辺の松剪定、そして「ささやまマメに見守り隊」として、異変に気づいたら篠山市の福祉総合窓口への通報を行う取組がおこなわれた。

### 3 決算の状況

センターの会計は、公益法人会計基準を適用し処理されている。

#### (1) 比較正味財産増減計算書

(単位:円、%)

科 目	平成 26 年度			平成 25 年度			平成 24 年度
	金 額	対前年度増減額	増減率	金 額	対前年度増減額	増減率	金 額
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受託事業収益	136,918,129	2,469,289	1.8	134,448,840	4,858,132	3.7	129,590,708
労働者派遣事業等受託収益	1,196,640	1,027,590	607.9	169,050	△ 907,200	△84.3	1,076,250
SP 技能講習共同費収益	0	△ 369,212	皆減	369,212	369,212	皆増	0
受取会費	1,072,500	△ 8,000	△ 0.7	1,080,500	△ 64,500	△ 5.6	1,145,000
受取補助金等	20,520,000	180,000	0.9	20,340,000	0	0.0	20,340,000
受取負担金	234,169	3,064	1.3	231,105	8,125	3.6	222,980
特定資産運用益	1,882	17	0.9	1,865	△ 151	△ 7.5	2,016
雑収益	108,319	16,743	18.3	91,576	△ 97,932	△51.7	189,508
経常収益計	160,051,639	3,319,491	2.1	156,732,148	4,165,686	2.7	152,566,462
(2) 経常費用							
事業費	154,143,013	1,974,901	1.3	152,168,112	2,534,038	1.7	149,634,074
管理費	2,519,658	122,742	5.1	2,396,916	△ 166,267	△ 6.5	2,563,183
経常費用計	156,662,671	2,097,643	1.4	154,565,028	2,367,771	1.6	152,197,257
評価損益等調整前当期経常増減額	3,388,968	1,221,848	56.4	2,167,120	1,797,915	487.0	369,205
当期経常増減額	3,388,968	1,221,848	56.4	2,167,120	1,797,915	487.0	369,205
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	—	0	0	—	0
固定資産売却益	0	0	—	0	0	—	0
経常外収益計	0	0	—	0	0	—	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	—	0	0	—	0
当期経常外増減額	0	0	—	0	0	—	0
当期一般正味財産増減額	3,388,968	1,221,848	56.4	2,167,120	1,797,915	487.0	369,205
一般正味財産期首残高	29,421,447	2,167,120	8.0	27,254,327	369,205	1.4	26,885,122
一般正味財産期末残高	32,810,415	3,388,968	11.5	29,421,447	2,167,120	8.0	27,254,327
II 正味財産期末残高	32,810,415	3,388,968	11.5	29,421,447	2,167,120	8.0	27,254,327

※S P…シニアワークプログラム

正味財産増減計算書は、当該事業年度における正味財産のすべての増減内容を明りょうに表示するために作成されたものである。

平成 26 年度の経常収益は 160,051,639 円で、経常費用は 156,662,671 円となっており、一般正味財産増加額は 3,388,968 円となっている。

また、これに一般正味財産期首残高 29,421,447 円を加えた一般正味財産期末残高は 32,810,415 円となっている。

またこれらを前年度と比較すると、経常収益では 3,319,491 円 (2.1%) 増加しており、経常費用では 2,097,643 円 (1.4%) 増加している。一般正味財産増加額では、1,221,848 円 (56.4%) 増加しており、正味財産期末残高では 3,388,968 円 (11.5%) の増となっている。

## (2) 比較貸借対照表

(単位:円、%)

科 目	平成 26 年度			平成 25 年度			平成 24 年度
	金 額	対前年度増減額	増減率	金 額	対前年度増減額	増減率	金 額
I 資産の部							
1 流動資産							
現金	4,644	△ 1,567	△25.2	6,211	△ 40,827	△86.8	47,038
普通預金	16,795,602	3,186,947	23.4	13,608,655	1,279,204	10.4	12,329,451
未収金	9,313,546	487,429	5.5	8,826,117	621,156	7.6	8,204,961
流動資産合計	26,113,792	3,672,809	16.4	22,440,983	1,859,533	9.0	20,581,450
2 固定資産							
(1) 特定資産							
施設等整備資金積立資産	4,000,000	0	0.0	4,000,000	0	0.0	4,000,000
配分金支払準備積立資産	11,000,000	0	0.0	11,000,000	0	0.0	11,000,000
特定資産合計	15,000,000	0	0.0	15,000,000	0	0.0	15,000,000
(2) その他固定資産							
建物	5,358	△ 5,359	△50.0	10,717	△ 5,359	△33.3	16,076
車輛運搬具	2	0	0.0	2	0	0.0	2
什器備品	94,755	△ 26,649	△22.0	121,404	121,401	4,046,700.0	3
預託金	23,840	0	0.0	23,840	0	0.0	23,840
その他の固定資産合計	123,955	△ 32,008	△20.5	155,963	116,042	290.7	39,921
固定資産合計	15,123,955	△ 32,008	△ 0.2	15,155,963	116,042	0.8	15,039,921
資 産 合 計	41,237,747	3,640,801	9.7	37,596,946	1,975,575	5.5	35,621,371
II 負債の部							
1 流動負債							
未払金	8,275,636	258,272	3.2	8,017,364	△ 78,258	△ 1.0	8,095,622
預り金	151,696	△ 6,439	△ 4.1	158,135	△ 113,287	△41.7	271,422
流動負債合計	8,427,332	251,833	3.1	8,175,499	△ 191,545	△ 2.3	8,367,044
負 債 合 計	8,427,332	251,833	3.1	8,175,499	△ 191,545	△ 2.3	8,367,044
III 正味財産の部							
1 指定正味財産	0	0	—	0	0	—	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	0	—	(0)	0	—	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	0	—	(0)	0	—	(0)
2 一般正味財産	32,810,415	3,388,968	11.5	29,421,447	2,167,120	8.0	27,254,327
(うち基本財産への充当額)	(0)	0	—	(0)	0	—	(0)
(うち特定資産への充当額)	(15,000,000)	0	0.0	(15,000,000)	0	0.0	(15,000,000)
正味財産合計	32,810,415	3,388,968	11.5	29,421,447	2,167,120	8.0	27,254,327
負債及び正味財産合計	41,237,747	3,640,801	9.7	37,596,946	1,975,575	5.5	35,621,371

貸借対照表は、当該事業年度末現在におけるすべての資産、負債及び正味財産の状態を明瞭に表示するために作成されたものである。

当期末では、資産 41,237,747 円、負債 8,427,332 円、正味財産 32,810,415 円となっている。当期末を前期末と比較すると、資産は 3,640,801 円 (9.7%) の増加、負債は 251,833 円 (%) の増加、正味財産は 3,388,968 円 (11.5%) の増加となっている。

資産の内訳は、流動資産 26,113,792 円、固定資産 15,123,955 円である。流動資産は、前期末に比べ 3,672,809 円 (16.4%) の増加となっている。これは主に普通預金の増加によるものである。また、固定資産は 32,008 円 (0.2%) の減少となっている。これは主に、什器備品の減価償却によるものである。負債の内訳は、流動負債 8,427,332 円であり、前期末に比べ 251,833 円 (3.1%) の増加となっている。これは主に、未払金が増加したことによるものである。また、正味財産の内、一般正味財産は 32,810,415 円であり、前期末に比べ 3,388,968 円 (11.5%) の増加となっている。

#### 4 補助金収入

センターに対する国及び地方公共団体の補助金は、高齢法第 40 条の規定に基づき措置されており、国庫補助金については、高年齢者の就業機会を確保するため地方公共団体の補助金額を上限に、(公社)兵庫県シルバー人材センター協会を通じて交付されている。

また、市補助金については、篠山市高年齢者就業機会確保事業費等補助金交付要綱に基づき、国が示す補助金交付要綱等で規定されたセンターが高年齢者就業機会確保事業の実施に要する経費の一部について交付されている。

補助金の推移を見ると、国庫補助金については、平成 24、25 年度は同額の 7,100,000 円で平成 26 年度は 180,000 円増の 7,280,000 円となっている。また、市補助金については、国庫補助金と連動せず同額で推移しており、平成 26 年度の市補助金収入(高年齢者就業機会確保事業補助金)は 13,240,000 円となっている。

##### ■国庫補助金・市補助金の推移

(単位：円)

年 度	連合交付金収入	摘 要	市補助金収入	摘 要
	(対前年度比較)		(対前年度比較)	
平成 24 年度	7,100,000		13,240,000	
	(0)		(0)	
平成 25 年度	7,100,000		13,240,000	
	(0)		(0)	
平成 26 年度	7,280,000		13,240,000	
	(180,000)		(0)	

##### ■市補助金交付事務の状況(平成 26 年度)

項 目	月 日	金 額 (円)	備 考
交付申請	平成 26 年 5 月 15 日	13,240,000	
交付決定	平成 26 年 5 月 20 日	13,240,000	
補助金交付	平成 26 年 6 月 20 日	8,000,000	概算払
	平成 26 年 10 月 10 日	5,240,000	概算払
実績報告	平成 27 年 3 月 31 日	13,240,000	

#### 5 意 見

(公益社団法人 篠山市シルバー人材センター)

##### (1) 高年齢者の会員数の確保について

平成 26 年度の会員数は、384 人で 60 歳以上の人口に占める入会率は 2.3%となっており、会員一人当たりの契約金額は 357 千円となっている。

一方兵庫県の平均は、粗入会率が 2.4%、会員 1 人当たりの契約金額が 432 千円となっており、センターの粗入会率及び会員一人当たりの契約金額は県平均を若干下回っている状況にある。また、公共団体からの受注割合を示す公共比率についても、県平均 27.4%を下回る 27.1%の状況にある。

このことから、センターの安定した運営を実施するためには、粗入会率の向上、安定的な公共団体からの受注確保及び就業場所・職域の拡大が重要であると思われる。今後も高齢化の進展により就業意欲のある元気な高齢者の増加が見込まれるところであり、事業の充実を図るとともに多様な就業ニーズに対応し、就業機会の創出につとめられたい。

(篠山市保健福祉部福祉総務課)

(1) 補助金交付における事務処理について

篠山市高年齢者就業機会確保事業費等補助金交付要綱では、実施状況報告書の提出を指定する期日までに提出することとなっているが、当該期日が指定されておらず実施状況報告書の提出がなされていなかった。ついては、補助金交付要綱に則り適正に事務処理をするとともに、センターに対しても適切な指導をされたい。